日刊

常磐毎日新聞

十月二十四日夕刊

定價 一部金貳錢 一ヶ月卅錢（郵税五厘）
廣告料 五號十二字詰一行 五十錢
休刊日 日曜大祭日ノ翌日
福島縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
發行兼編輯人 印刷人 川崎文治
本社ト同番地 印刷所 常磐毎日印刷所（電話六三〇番）

寄書

野田醬油爭議視察記（二）

筒井巖雄氏

斯くして一時の少康は保ち得たもの〻組合でも亦會社でも互に最後の決戰を豫期しこの秋にはと云ふ決意が藏されて虎視耽々たる狀況の下に最善の準備が整へられあつたのである、處が從來會社の荷扱ひを一手にしてゐた丸三運送店の從業員は全部組合員で勞働狀態宜しからず作業に支障を來すとが度々重なるので會社で別に運送荷扱ひの機關を設くる必要を痛感し遂にその頃江戸川架橋工事に從つてゐた土工人夫を入れて丸三運送店にかへて丸三運送店を急造したのである、組合側では之を以て會社が組合に向つて挑戰したものであると遂に爭議を決行するに至つたがこの罷業を完全な總罷業として全戰線の勢力を以て會社を封鎖し豫期の勝利を得んとするには一の大なる障碍があつたそれは四百名の非組合員を從業員として野田全生產額四分の一を產出する能力を有する第十七工場從業員の向背である、乃ち第十七工場員の態度は此爭議の勝敗を決定するキャンスラングボートをして兩者爭奪の標的となつたのである、組合ではこの第十七工場工員をして同情罷業に參加せしむべくあらゆる努力を集中したのである（つゞく）

一册の代金で御希望通りな五册の雜誌が自由に讀める
川崎巡回文庫
電話六三〇番
（申込次第規則書進呈）

横森博士の推奨せる
養命酒（まむしのエキス）
其偉効眞に神の如く
定價……一圓五十錢、二圓
平町五丁目角 山野邊藥局

洋食
美味評判 イワキ食堂
平町紺屋町（縣社通り）
オの部電話四六〇番

內科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。
磐城病院
平町田町本通り
入院隨時（電話一二四番）

飲むとすぐキク
クノー散
齒痛、神經痛、頭痛の特効藥
平町各藥店に販賣す
試みられよ、

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目（電三）

玩具文具
ハーモニカ
ゴムマリ
糸類書籍
問屋 森下商店
まめや號
平町一丁目

大藏大臣免許
存共＝誠意
と共榮＝簡易の金融＝貯蓄の趣味と堅實
△絶へず會員を募ります
△何時でも申込下さい
磐城無盡商會
△本社植田町本町
△支店平町中丁一四

外科
外科一般
耳鼻咽喉科
男女性病科
×光線科
赤心堂病院
田町 電話四七五番

登錄商標
醬油
味噌
鰹節
酒類
罐詰
食料品
製造問屋
鹽屋山崎合名會社
電話 營業部一〇番 工場二七番

和洋御菓子
「開店御披露!!」
十月二十二日より二十八日迄の向ふ七日間
開店紀念として御來店の御客様に限り左の奉仕……
小賣に限り
お買上金高の三割
商品切手提供
永野キャンデーストアー
平町二丁目（百七銀行前）
電話近日開通

創業三十周年賣出し中御後援を賜り候御禮として
▲特賣▼
トンカツレツ
メンチカツレツ
ライスカレ
各十五錢
其他相應じて格安
松茸フライ一品
金二十錢

洋式宴會
仕出し
十月一日より相始申候
一の井
平町田町電話一六七番

臨時縣會招集に 伊東知事決意す

十一月十日からと内定

本縣に於ては最初臨時縣會を招集せぬ意向であつたが伊藤知事は二十一日東京より歸廳するや直に臨時縣會を開く決意をなし二十二日正午左の如く發表した『小名濱港灣に指定されるや否や

不明で

あつたゝめ臨時縣會を開き縣會の決議を以てこれが促進を迫り且つ國庫補助の運動も必要と思つてゐたが既に第二種港灣に指定されて臨時縣會を開くの必要がなくなつてしまつたけれど通常縣會に於て役員選擧のために

日時を

割かれても困るから役員選擧のためのみに特に臨時縣會を開くことにして開會の日取りは明確にいはれぬが大体十日前後である』云々即ち十一月十日臨時縣會の招集をなすことに内定した

大藏省豫算閣議も 無事通過しよう

小名濱築港案につき 伊東知事歸廳談

本縣伊東知事は臨時港灣調査會から二十二日歸廳して語る

小名濱港の第二種重要港灣指定並に修築に關する案は頗る順調に通過し縣民と共に欣快に堪へない今後も大藏省と外に豫算閣議の通過を要するが内務省では縣民の要望を表示する縣會の決議を齎らさなくともいゝとの事であるから大丈夫双方共通過するものと信じて居る

溺死体に 他殺の疑ひ

四ツ倉署 大活動開始

石城郡大浦村仁井田村附近に二十三日早朝溺死体が漂着したのを通行人が發見四倉署に屆け出でたので同署より係官出張檢視するに他殺の疑ひあるので目下嚴重取調中

各自持寄つて 菊花品評會

來月一日から十日間 南町裏町有地廣場で

平町千秋會支部主催の菊花品評會は愈々來月一日から十日間南裏町有空地に開催される事となり主催者側では各種の準備に取掛つてゐるが花卉類の

品評會と

しては同地方稀に見る大規模なもので出品點數は名花揃ひにて四百點以上に達するものゝ如く從つて品評會場も間口三十間奥行五十間とし之れに雨障子を設ける筈で入口の裝飾門及び場内の裝飾等も總て馥郁たる菊花の爛漫たるにふさはしき調和の意匠を凝らしていやが上にも

國花愛好

の氣を滿たさしめる趣好として夜間は二百數十の廣告燈を會場より南町迄人通りあたりまばゆい程に點じ晩秋の夜の美觀を增さしむる計畫で盛況を豫想されてゐるが役員は左の通りである

△會長櫛田榮太郎、△評議員齋藤滿藏外十名、△贊助員伊坂員正外三十五名△會計係海老根淺吉、渡邊喜重

總選擧を控へ 色めく石城政界

無産、民政それ〴〵の陣容 三名獨占に政派意氣込む

明春五月の總選擧を控へ石城の政界は早くも活氣付き政、民兩派とも各候補者の物色に苦しんでゐるが、何しろ今度は中選擧區となり

勝手が

廣くなつたそれに過般の縣議戰に於て兩派とも辯士難に陷つたことや疑義が多かつた爲め運動に少からず支障を來したところから確固たる陣容の下に必勝を期して臨む筈であるが普選第一回の代議士戰だから日勞黨や勞農黨からも

出馬す

るは確實で日勞黨は既に本部の加藤勘十氏を擁立することに決定したものゝ如く傳へらるゝ向きもある、現在は濱三郡で民派が二名を獨占してゐるが今度から一名增員し三名となつたわけで第三區は本縣政友派の

根據地

とも言はれ多年金城蕩地と誇つて居たが今次の縣議戰は餘りに自己の潜勢力を過信したゝめ同派としては不成功に終つたが來る可き總選擧には支部では三名獨占すると力味返り今から容易おさ〳〵おこたりない

職人の縊死

渡邊村で

去る十九日石城郡渡邊村地内に職人風体の男が縊死してゐるのを通行人が發見植田署に屆け出でたので直ちに檢視したが身元その他不明なので死体は同村役場に引渡したが二十三日に至り宮城縣鹽釜町北濱町船大工佐藤忠太夫と判明同日實家に死体を引渡した

蜜蜂の飼育

石城郡内においては各種の副業が奬勵され相當の發達を見せてゐるが同郡北の山間方部には最近蜜蜂の飼養が盛んに行はれてゐるが入遠野村長樋口氏は近來試驗飼養は極めて容易にして一群より一斗五升の收獲ありこの價格五十圓で有望な副業なので郡農會では奬勵の方針である

讀者諸彦へ

川崎本社長先日來病氣にて自身執筆編輯に從事し得ざるため紙上不体裁の段平に御諒恕を願ひます

家庭欄

流行病の豫防

その第一には流行時には疑はしい病人にはつとめて接しないこと、第二には生食を避けて煮沸または加熱したものでなければ口にせぬといふ用心、第三には飲料水も生で用ゐることを避けること、第四には暴飲暴食を愼んく胃腸を損はぬやう第五には豫防注射を受けるといふことである。

序に一般的要心としては不潔な場所での飲食を愼むこと、同時に不潔な場所で作らぬこと、つとめて心身を健康に保つて病魔のつけこむ隙を與へぬこと最後にお臺所や便所は清潔を保つてたとへ細菌が飛んで來ても大事に到らぬ前に殺菌する習慣が必要、勿論菌は見えないが常に清潔に消毒や掃除を怠らなければ知らぬ間にその目的が達せられてゐる

悠長なストライキ

爭議團員は附近町村の 稲刈り畑耕作のお手傳ひ 品川白煉瓦の株主會社へ交渉

品川白煉瓦湯本町工場の爭議はその後全從業員が參加し殆ど休業狀態で煙突のけむりは申譯的に立ち上る位で會社當局では躍起となつて對策を講究中の由だが爭議團の一行は社會奉仕の

作業を

やらうと罷業側より百二十餘名が附近中農以下の農家にいたり稲刈りその他の手傳ひをなし附近町村民から非常の同情を買ひ味噌米食品などの寄附が山をなしてゐるが二十一日は湯本町關船國井實方の

畑耕作

をなし、二十二日は磐崎村方部において奉仕作業を行つたなど非常に悠長なストライキで一方全從業員代表の小野繁藏氏は上京して本部細谷氏外各工場從業員代表と共に本社に交渉を開始しをるが一方常磐關係の各株主は何れも洲川湯本工場主任の措置に

感心せ

ず寧ろ爭議團側に好感を寄せる風あり有志株主は今回怠業といふ名目で突如馘首された二十餘名の復職方を運動し從來不謹愼な職工ならいざ知らずいづれも優良職工を片つぱしから馘首したことは不當も甚だしいといつてゐるなほ町民も近日中同町に爭議批判大演說會を催す計畫をしてゐると

平南町裏の 新幹線道路

買收漸く纏る

平町南町裏新設幹線道路は長橋橋に通ずる箇所百坪の地主館林喜助氏が容易に買收に應ぜざるため今日まで開通が遲れてゐたが妥協委員山崎與三郎、植頭鶴松、小野和七の三氏が種々交渉を重ねた結果この程に至り右百坪を立退き料とも七千圓で讓渡する妥協が成立したので二十二日午後二時から平町役場に市街道路實行委員を開會直ちに買收手續きをなしたから幹線道路の貫通落成も近い將來に實現するわけである

貯金映畫變更

貯金宣傳映畫は藤田女學校にて上映する筈であつたが二十五日午後五時より聚樂館にて行ふ事になつた

川前の紅葉

ひさご片手に

吟客チラホラと

小川村地内の鐵道磐越東線が同郡小川鄕から川前に夏井川の渓流を點々する十哩の區間は縣下に於ける紅葉の名所で同區間井田信號所から久原鑛業の發電所附近が一層其美を唄はれてゐる今年の見頃は來る廿五六日頃からで數日來黃ばみ初めた木々のこずえの落紅に誘はれてボツ〳〵と杖ひくものを見せて來たが縣道川前街の徒歩の眺めは殊によく自動車を驅つて要所々々に一瓢をぬくのも又格別だ